

## 医師に記入してもらう感染症名

感染症名	感染しやすい期間（※）	登園のめやす
麻しん（はしか）	発症1日前から発しん出現後の4日後まで	解熱後3日を経過していること
インフルエンザ	症状が有る期間（発症前24時間から発病後3日程度までが最も感染力が強い）	発症した後5日経過し、かつ解熱した後2日経過していること（乳幼児にあっては、3日経過していること）
風しん	発しん出現の7日前から7日後くら	発しんが消失していること
水痘（水ぼうそう）	発しん出現1～2日前から痂皮（かさぶた）形成まで	すべての発しんが痂皮（かさぶた）化していること
<small>りゅうこうせいじかせんえん</small> 流行性耳下腺炎 （おたふくかぜ）	発症3日前から耳下腺腫脹後4日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから5日経過し、かつ全身状態が良好になっていること
結核	—	医師により感染の恐れがないと認められていること
<small>いんとうけつまくねつ</small> 咽頭結膜熱（プール熱）	発熱、充血等の症状が出現した数日間	発熱、充血等の主な症状が消失した後2日経過していること
<small>かくけつまくえん</small> 流行性角結膜炎	充血、目やに等の症状が出現した数日間	結膜炎の症状が消失していること
<small>ひやくにちぜき</small> 百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで	特有の咳が消失していること又は適正な抗菌性物質製剤による5日間の治療
腸管出血性大腸菌感染症 （O157、O26、O11等）	—	医師により感染のおそれがないと認められていること。（無症状病原体保有者の場合、トイレでの排泄せつ習慣が確立している5歳以上の小児については出席停止の必要はなく、また、5歳未満の子どもについては、2回以上連続で便から菌が検出されなければ登園可能である。）
急性出血性結膜炎	—	医師により感染の恐れがないと認められていること
<small>しんじゅうせいずいまくえんせんしんしょう</small> 侵襲性髄膜炎菌感染症 <small>ずいまくえんせいずいまくえん</small> （髄膜炎菌性髄膜炎）	—	医師により感染の恐れがないと認められていること